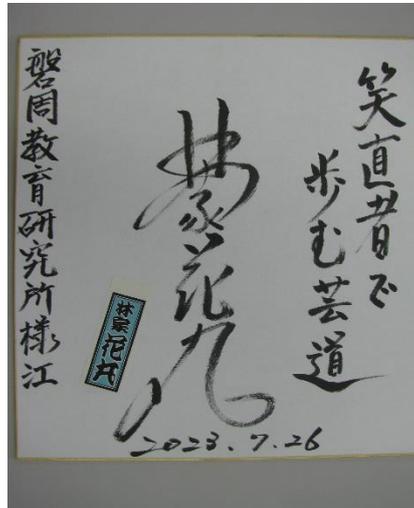
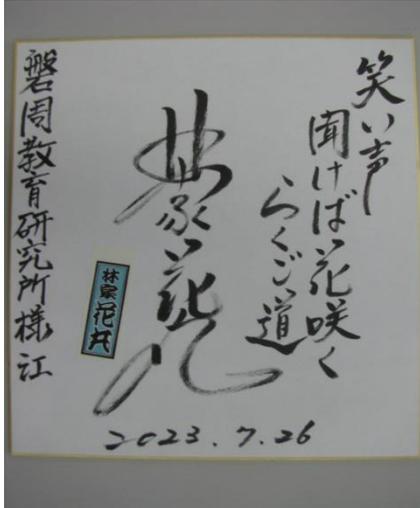


さすが落語家！林家 花丸さん 教育講演会



すてきな色紙を2枚書いていただきました。
ソフィアの1階に掲示していますので、ご覧ください。

【参加者の感想より】 たくさんの感想、ありがとうございました。

- ・話し方、仕草、小物の使い方など洗練されていて場面が浮かびました。落語家さんのような授業を目指したいです。無駄な言葉がなく、想像力が湧く、印象に残る授業が理想です。おでんや引き出しの話など交えて伝えなければならない大切なことについても教えていただきました。
- ・林家花丸さん、とても素敵な方で、話に聞き入ってしまいました。話し方、さすがプロだなと思う間の取り方、声のトーン、スピード…何年かけてあれを身につけたんだろうと考えてしまいました。内弟子修行の話聞いて、それをやっていくことであの細やかな気遣いや人間性が身につくんだと思いました。落語家さんの講演を聞くのは初めてでしたが、とても楽しい講演でした。ありがとうございました。
- ・「人はおでんの具のようなものだ」という話が印象に残っています。教員もですが子供たちは、それぞれに個性があり、特性があり、長所・短所がありますが、その”違う部分”がよいのであり、そこをお互いに尊重できる人間関係を作れるよう心がけていきたいと思いました。
- ・例え正論であっても相手のことを思いやらなければ、ただの独りよがりの「語り」になってしまう。大切なことは自分と相手のところところを通わせること、「伝える」ことであると感じました。ついつい、語気を強め、頭ごなしに子どもを叱りたくなる時もありますが、私たち教職員にとって大事なことはその子どもが自ら正しくあろうとすることを育むことであり、そのためには、時に「やって見せたり」、「説いてみせたり」、「見守ったり」と様々な伝え方で、私たち教職員の思いを子どもに届けたいと思いました。



お客さんとの電波が途切れないように、時々パトロールするのが大事ですね

